

仕事で培った知識を家庭内の省エネに生かす!

東京都日野市 平栗政春さん

特徴

- ご主人はビルや工場の設計、メンテナンスの専門家。奥様と2人暮らし。
- 家庭内の省エネにも、技術者らしく非常に細かい部分にまでこだわって対応。そのデータ等の扱い方も専門的。
- 車はソーラーバッテリーの利用による省エネ化を行っている。
- 特に電力の削減をメインとしているが、そのために省エネナビは大きな力。

40年間の知識とノウハウで、暮らしのあらゆる部分を見直し。

平栗さんは電気主任技術者。40年間、ビルの省エネについて創意工夫を重ねてきました。しかし、自分のこととなると“紺屋の白袴”で、奥様にまかせっぱなし、口先だけで何もしていなかったそうです。そこで、今回は一念発起。自ら仕事で培ってきた知識やノウハウをフル活用。ワットアワーメーターや電流計等を使って、家庭内の省エネに全面的に取り組みました。

・暖房

コタツ：設定温度は常に最低に。コタツ敷きを2枚、コタツ掛けを2枚に。

灯油温風ヒーター：設定温度を18～20℃とし、5秒点火の余熱スイッチの入れっぱなしを止める。

・給湯/風呂

給湯温度38℃、風呂温度42℃と設定し、給湯器の電源をこまめに切る。また、風呂の残り湯は、洗濯水・防災・消火用水として再利用。本人19:00入浴、奥様21:00入浴と間を空けないようにした。

・温水洗浄便座

1・2階の2台を1階の1台使用に限定し、スイッチでこまめに切る。

・エアコン

クランクケース・ヒーターの通電に気づき、電源プラグを抜く。

・電気炊飯器

保温を止め、電子レンジでご飯茶碗1杯ごとに温めた。

・家電

エコワットにより待機電力を把握し選別した。

・自動車

急発進・急制動をしない、しな

やか運転を心掛けた。またソーラーバッテリーを取り付け、バッテリー補充電走行を一切やめた。

特に、ソーラーバッテリーを使った車のバッテリー充電は、バッテリー充電を目的とした走行等の余分なガソリン消費を抑えるだけでなく、バッテリー交換さえも不要と考えているそうです。



ダッシュボードのソーラーバッテリー充電器

英知と工夫で一層の省エネ化に取り組む。

電気量は2月20%、3月40%の削減ができ、ガス量は15%削減できました。ただ、水道料は削減できず、今一層の工夫と努力が必要と考えています。

「省エネは生活レベルの低下とも感じますが、産業革命以来、人類が排出し続けてきたCO₂により、現代にツゲがまわってきたわけで、地球温暖化は人類の英知で乗り切れると信じています。省エネは、子孫に残す高尚な行為と頭を切り換え、省エネ運動の輪を広げていきたいと考えています。」と語っています。



平栗政春さん

[エネルギー削減率] 18.2%

■プロフィール

住所：東京都日野市
家族構成：大人2人(夫婦)
住宅様式：一戸建て
省エネ活動について：以前から実践
省エネナビ：設置



自作のソーラーバッテリー、BOX(仮称)で、バッテリー、携帯電話、デジカメを充電